大野小学校報 第841号 <u>令和7年10月1日</u> めざす子ども像 たすけあう子 かんがえる子 げんきな子 (文責 勝田)

日中はまだ汗ばむ陽気が続いていますが、朝夕には涼しい風が吹き抜け、秋の気配が少しずつ感じられるようになってきました。校庭では子どもたちの元気な声が響き渡り、運動会に向けての練習にも熱が入っています。仲間と力を合わせて取り組む姿には、成長の芽がしっかりと根を張っているように感じられます。

また、今月21日には社会見学も予定されています。教室を離れて地域の自然や施設に触れることで、 子どもたちの視野が広がり、学びがより深まることを願っています。また、大野地区恒例の三世代交流会 も10月25日(土)に予定されています。

保護者の皆さま、地域の皆さまとともに、子どもたちの学びを支え合いながら、心豊かな日々を紡いでいけることを楽しみにしています。秋の入り口で迎えるこの季節が、子どもたちにとって実りある時間となりますように。

不審者を想定した避難訓練

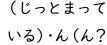
9月12日(金)、校内で不審者を想定した避難訓練を行いました。 今回は、元警察官のスクールサポーターの方が不審者役を務めてく ださり、実際の場面を想定した緊張感のある訓練となりました。子ども たちは先生の指示をよく聞き、落ち着いて避難することができました。



訓練後には、香々美駐在所の警察官の方から安全に関するお話をいただきました。「10月は小学生の交通事故が最も多い月です」との言葉に、子どもたちも真剣な表情で耳を傾けていました。登下校時の交通ルールの確認や、周囲への注意を改めて意識するきっかけとなりました。また、校長講話

の中で不審者に関する合言葉「はちみつじまん」を紹介しました。これは、不審者を見分けるヒントを覚えるための言葉で、「は(話しかけてくる)・ち(近づいてくる)・み(見つめてくる)・つ(ついてくる)・じま

しつこく何かとしなしかける 理由もないのに分かづいてくる あなたが来るのを道の端でじっと分つめてくる いつでも、どこでも、いつまでもついてくる あなたが来るのをひっと言ってる こういう人に会ったらか?と注意





ひょっとして・・・と感じる)」というものです。この合言葉はあくまで参考ですが、自分の身は自分で守るという「自己防衛力」を 身付けてほしいと思い紹介しました。

今後も、子どもたちの安全を守るために、地域や保護者の皆 さまと連携しながら、日々の指導と見守りを続けてまいります。

人権参観日、教育講演会 ありがとうございました



9月18日(木)の人権参観日には、たくさんの方々にご来校いただき、ありがとうございました。

今回の授業では、「人権」をテーマに、各学年の発達段階に応じた内容を取り上げました。ご参観いただいた皆さまには、子どもたちが真剣に学ぶ姿をご覧いただけたのではないでしょうか。

「人権」という言葉は、子どもたちにとって少し抽象的で難しいものです。そこで、学校生活や日常の場面と結びつけ、具体的に考えたり、話し合ったりする授業を行いました。

人と人とがよりよく関わるためには、何が大切なのか。子どもたちが授業を通して、友達や家族へ

の思いやりの心を育んでくれることを願っています。



この日の学びが、今後の日常生活の中で生かされるよう、私たち教職 員も子どもたちとの関わりを大切にしながら、支えていきたいと考えてい ます。また、授業後の講演会にも多くの方にご参加いただき、ありがとう ございました。皆さまの温かいご協力に、心より感謝申し上げます。

いいそない、稲刈り体験

9月24日(水)、五年生が「にこにこクラブ」の皆さんのご協力のもと、「いいそない」と稲刈り体験を行いました。

「いいそ」とは、稲刈りの際に稲を束ねるために使う手作りの 縄のことです。藁を両手のひらで綯って作るこの作業は、ほとん





どの子どもたちにとって初めての体験で、最初は感覚がつかめ ず苦戦する様子も見られました。

それでも、「にこにこクラブ」の皆さんが丁寧に教えてくださったおかげで、子どもたちは少しずつコツをつかみ、楽しみながら作業に取り組むことができました。

続いて行われた稲刈り体験では、鎌の使い方に戸惑ったり、 刈り取った稲を束ねる作業に苦労したりする場面もありました

が、「にこにこクラブ」の皆さんが優しく声をかけてくださり、子どもたちは励まされながら最後まで一 生懸命に取り組みました。

自分たちで植えた苗が立派に育ち、無事に収穫できたことは、子どもたちにとって大きな喜びとな

り、農業の大切さや収穫のありがたさを肌 で感じる貴重な体験となりました。

「にこにこクラブ」の皆さん、本当にありがとうございました。

